



お客様が求める以上の本物の物づくりをめざして

株式会社クリエート技研  
取締役会長 大滝 太志夫

創業時は(株)京セラ様の製造機、装置部品(金型、治具等)を主に事業展開してきました。

25年くらい前に(株)京セラ様から、新しい製造機械に使う高難度の部品を作れないかと相談を受け、社内で検討いたしましたが、割り出し精度が極めて厳しい部品で、当時のNC機械の座標送りでは難しく工業技術センターに相談しました。

ちょうど4軸NC円テーブルを導入したばかりとの事で、4軸NC円テーブルで加工すれば出来るのではないかと指導を受けました。連日、工業技術センターまで設備を借りに通い、指導員の方と一緒にテスト加工を重ね、やっとの事で(株)京セラ様から満足していただける物を完成させることができました。

その後、加工工程を確立して、大量の受注獲得につながり、4軸NC円テーブルを4台購入して受注に応じた経緯があります。工業技術センターのご指導・ご協力には感謝しています。

20年前頃は、社会的にも製造競争が激しい中で他の業界(自動車、半導体)への進出が必須になり、複雑形状品、量産加工にも対応できる新規設備への投資や、社内環境整備をして受注拡大を図ってきました。

特に、3次元加工品がある時は、直接お客様を工業技術センターの精密測定室まで案内して測定機を見てもらい、工業技術センターに手助けをもらっている状況を説明して、理解と納得をしていただき新規の受注に繋がったことも多数あります。

現在は、接触式3次元測定機2台、非接触式3次元画像測定機3台を導入して、品質保証に対応しています。

複雑形状製品も増える中で、社員の加工技術向上が必要になり、国家試験(技能検定)の資格取得にも力を入れており、現在は特級3名、1級2名、2級2名の資格者が在籍しています。製品への知識、加工方法の深堀りも積極的になり、社員の加工技術の底上げになっています。

3年前に現社長に引き継ぎ、社員の総合力と技術向上心の高まりから、今後使用が期待されるダイヤコンパックス(PCD)を使った製品の粗材購入、ろう付け、レーザー溶接、研磨加工、鏡面出しの製造工程の確立に取り組んでいるところです。

今後も、少数精鋭で常に課題を持ち、進化、挑戦し続ける集団を目指し、地域の中で必要とされる物づくり企業として、工業技術センターの力を借りながら、成長できるよう努力してまいります。

